

節電にご協力を!!

ご家庭でできる節電をご紹介します

この度の東日本大震災の影響により、電力供給が極めて厳しい状況となっております。

電力の大口需要家、小口需要家、家庭とも、ピークタイム（平日の午前9時から午後8時）には15%の節電が求められています。これを機に、家庭やオフィスでの電気の使い方を見直してみませんか。

熱中症に気をつけながら、家電製品を上手に使い、無理のない範囲で「節電」に取り組んでいきましょう!

ご家庭でできる節電対策		削減率	削減消費電力
エアコン	●室温28℃を心がけましょう。	10%	130W
	●“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげましょう（エアコンの節電になります）。	10%	120W
	●無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。 ※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になるので注意しましょう。	50%	600W
冷蔵庫	●冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。	2%	25W
テレビ	●省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2%	25W
照明	●日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。	5%	60W
ジャー炊飯器	●早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。	2%	25W
待機電力	●リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。	2%	25W

(出典「家庭の節電対策メニュー」経済産業省資源エネルギー庁)

村の節電の取り組み

村では、消費電力が多くなる夏期の間、全庁で次の取り組みを行っております。
皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

●照明の消灯

庁舎内の照明を、お客様にご迷惑がからない程度、消灯しております。また、昼休みなどは事務所内の照明を消灯しています。

●クールビズの取り組み

ポロシャツや運動靴等の軽装で勤務をすることで体感温度を下げます。

●緑のカーテンの設置

ゴーヤなどの植物を育て、日差しを遮り室温上昇を抑えます。



▲庁舎南側の緑のカーテン（ゴーヤの苗は宇根一元さんよりご提供いただきました）